

発 言 通 告 書

令和6年2月26日

松山市議会議長 渡部克彦 殿

松山市議会議員 向田将央

次のとおり通告します。

発言順位	1	受領日時	2月 26日 午後 4時 10分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式		一括方式	発言時間 約 50 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・農業委員会会長	・選挙管理委員会委員長 ・監査委員	・公平委員会委員長 ・公営企業管理者	

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	中心市街地における経済活性化と交通の利便性向上によるにぎわい創出について	<p>(1)本市では市駅前広場整備事業に対して来年度当初予算で約20億円が計上されているが、事業の経済効果をどのように考えているのか。</p> <p>また、本事業を市長公約関連事業の柱3である経済の活性化と雇用環境の整備ではなく、柱2の交通の利便性向上とまちの賑わい創出に位置づけているが、本事業は経済活性化を期待して行われる事業ではないということか。</p> <p>さらに、平成29年6月定例会で私から銀天街L字地区再開発について質問したが、その後、湊町三丁目C街区地区第一種市街地再開発事業についての進捗状況についても問う。</p> <p>(2)市長公約関連事業の柱2、交通の利便性向上とまちの賑わい創出の中に商店街空き店舗出店促進事業があるが、本事業の概要を伺う。</p> <p>また、具体的にどのような効果が生まれると考えているのか。</p> <p>さらに、私は「銀天街・大街道が衰退していくのでは」と危機を感じているが、本市は過去10年間で銀天街・大街道のにぎわい創出のためにどのような対策をして、どのような効果があったのか、コロナ関連施策以外で伺う。</p> <p>(3)太陽市(おひさまいち)は、銀天街・大街道とそれほど距離は離れていないと考えるが、本市として、銀天街・大街道と比較して、どのような印象を持っているのか。</p> <p>また、単年度で約20億円の予算をかけて市駅前広場整備事業を行った結果、銀天街・大街道などで、この太陽市(おひさまいち)と同じようなにぎわいを作り出すことができると考えているのか。</p> <p>(4)市長公約関連事業の柱2、交通の利便性向上とまちの賑わい創出の中で、当初予算案では市駅前広場整備事業の次に大きな規模の予算編成がされているのが松山駅周辺整備事業であるが、約11</p>

